

全国



第2106号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

市議会旬報

令和元年 12月25日
(2019年)

毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 滝本 純生
<http://www.si-gichokai.jp>

地方押し返し

ゴルフ場利用税は堅持 電力減収も穴埋め

来年度税制
改正大綱

自民、公明両党は12月12日、令和2年度の税制改正大綱を決定した。焦点だったゴルフ場利用税

の非課税年齢拡大は見送り、電力法人課税(都道府県税)は方式の一部見直しを実施、減収となる地方には代替税源確保と40億〜50億円の地方交付税等で穴埋めする。

強い減収攻勢にさらされた地方にとって不満は残るものの、最終的には補てんを引き出し、何とか押し返した形だ。ゴルフ場利用税は税込(平成29年度447億円)

の約7割(同315億円)が所在市町村に交付される。

文部科学省、関連業界がゴルフ振興を目的に挙げて非課税年齢を「70歳以上、18歳未満」から「65歳以上、30歳未満」に広げるよう要望、これに対し総務省や地方側は「ほとんどの利用者は支払わなくて済む」と猛反発し、現行制度を堅持するよう強く求めている。

業界側の要望は強かったが、両党税制調査会内には、年齢拡大によるゴルフ振興効果を疑問視し

たり地方財政への影響を懸念したりする声が強く、現行制度維持を求める声が大勢を占めた。

電力会社に対する法人事業税(同1437億円)の課税方式見直しでは、経済産業省、電力業界が電力自由化の進展を背景に、現行の収入金額課税(現行・収入割税率1・3%)に特別法人事業税分(含む)から税負担が軽くなる所得課税への変更を要望。

本会は①自由化に伴う競争環境は不十分②原発

をはじめ大規模発電施設は多大な行政サービスを受けているなどとして反発していた。

両党の税制調査会は新電力の市場シェアを参考に自由化の進展具合を判断し、発電・小売り事業の約2割についてのみ課税方式を見直すことを決定。資本金1億円超の電力会社については収入割税率を1・05%に下げ、一方、付加価値割0・37%、資本割0・15%を新たに課すことにした。資本金1億円以下の電力会

方財政対策等について要望した。本会から渡辺進二郎副会長(調布市)と田中金利基地協議会会長職務代理(加賀市)が出席した。

自民党総務部会で要望

地方交付税 2年連続増 来年度地財対策

令和2年度の地方財政対策が12月18日の閣僚折衝で決着した。地方交付

税総額は16兆6000億円(前年度比4000億円増)で2年連続の増加となった。地方税などを合わせた一般財源総額は過去最高の63兆4000億円(同7000億円増)。



渡辺副会長
(調布市)



田中金利基地協議会
職務代理(加賀市)

社には、同じく収入割1・05%のほか、新たに所得割1・85%を課す。

この見直しに伴う都道府県の直接的な減収額は約180億円に達するが、総務省は軽油引取税、固定資産税の見直しで代替税源130億〜140億円を確保し、残り40億〜50億円は地方交付税等で措置する方針。併せて市町村への法人事業税交付金に影響が及ばないように特別法人事業税の税率(現行・収入割額の30%)を40%に引き上げる。

費用を料金転嫁できる総括原価方式を採用している送配電事業は、業界側が途中から要望を前面に強く出さないようになり、課税方式見直しは見送られた。

お知らせ

1月5日付第21107号は、21108号との合併号とし、1月15日付21107・8号として発行します。

議場を市民に

愛知県高浜市 東京都狛江市

議場を市民に開放する市議会が現れている。自然災害の緊急時に住民の自主避難所として開放したのが東京都狛江市（人口約8万人、議員定数22）。愛知県高浜市（同約4万9000人、同16）は多目的ホールとして貸し出しを始めている。両市とも「議会は市民のために何が出来るか」という問題意識が出発点となった。それぞれの取り組みを紹介する。

台風19号 自主避難所開設 「有効活用したい」 狛江市議会

今年10月12日、台風19号による大雨被害に見舞われた東京都狛江市は市議会議場を自主避難所として市民に開放した（旬報11月5日号既報）。総務省によると、自治体で議場を避難所として活用した例はないという。狛江市議会の決断の背景に

あるのは「年間を通して使用頻度が決して高くはない議会の議場を市民のために有効活用したい」（石井功議長）との思いだ。市議会事務局によると

議場開放の基本方針は前日11日に決まった。既に台風の進路予想から大変な悪天候が確実視されており、市は同日に臨時庁議を開催。他の避難所が満杯状態になった場合の対応策として市庁舎を自主避難所として開放する案を協議し、行政側から議場のある3階フロアの廊下を開放する案が示された。

これに対し、議会側が「通路だけではスペースが限られる。議場も一緒に開放するのはどうか」（小川啓二議会議長）



議場開放を伝えた狛江市議会報



自主避難所に使われた議場【写真・狛江市】

と「拡大提案」。小川事務局長が持ち帰ったこの案に石井議長が即座に了解を出し、市の対応方針として開放準備を進めることが決まった。

結局、市庁舎には議場を含めると最大463人が避難。幼児連れやお年寄りも目立ち、中には居住地が市外ながら避難してきた人もいた。市全体の避難者3966人のうち11・7%が市庁舎に集まった計算だ。

しかし、避難して来る市民の多さから議場以外に2つの委員会室も開放し、それでもスペースが足らなくなり、市庁舎で最も大きな会議室の4階特別会議室、さらには2階ロビーにと避難所を

自宅周辺の被害状況を確認するなどして深夜から未明にかけて徐々に帰宅していったが、最後の人が市庁舎を後にしたのは翌13日午前8時20分、自主避難所としての開設時間は約18時間に及んだ。

利点はカーペット

石井議長、小川事務局長が市民受け入れを振り返って話すのは「議場にカーペットがある利点」だ。体育館の床などと違い、身体をさほど冷やすことがなく、心的なストレスも多少は軽減される。「横になるときも負担が少な



授乳室に使われた応接室

石井議長はこうして取った一連の対応策について11月の会派代表者会議で報告、活動状況を議員で共有した。

もともと、議場を避難所として活用する案が生まれたのは「議場が使われるのは年4回の定例会を中心年間30日程度。市民にもっと有効に使ってもらえる策があるはずだ」（小川事務局長）との問題意識からだ。

実際、昨年11月に議場コンサートを実施、今秋には地元都立狛江高校の管楽部が演奏会を開いた。3度目となる議場コンサートも年末に実施予定だ。また、今年11月からは議会図書室を一般開放、市民に有効活用を働き掛けている。

石井議長の話



石井功議長 (狛江市)

「議場は議員が議会活動を行うベースとなる場である一方で、議場を公の施設としてとらえた場合、快適な環境で広いスペースを有し、市民皆様の貴重な財産であると思えます。」

我々議員はこの貴重なスペースの活用について積極的に進めていくことは時代のニーズであると強く感じています。避難所、コンサートの場所としての活用にとどまらず、今後も市民のために何が出来るのか、柔軟な発想で、さまざまな可能性を追求していきたいと考えています。

多目的ホール貸し出し

机椅子は可動式 高浜市議会



議場。12月定例会本会議 左側が議員、右側が執行部 (写真・高浜市)

愛知県高浜市は、議場を「多目的ホール」として市民に開放・貸し出し

ている。机・椅子は可動式で、議会開会中、議場は本会議のほか、委員会にも使用。本会議では向き合う議員と執行部の間の壁際に議長席を配置する。議会閉会中は職員が会議室としても使い、議場利用率は上がっている。平成29年1月に建て替えた市庁舎は、初期投資を抑えるため、20年リースの借り上げ。議場は、多目的な利用ができるようフラットな構造とし、議会の理解

を得て同年2月から貸し出しを始めた。

要綱に基づき、市民のまちづくり活動で公益上必要と認められる場合に利用許可する。利用料は1時間当たり1500円。これまで市民への議場貸し出しの実績は2件で、30年1月の高浜ライオンズクラブ総会と、令和元年11月の「たかはま夢・未来塾」ディベートクラブの大会。

庁舎管理担当の市総務部行政グループは「市役所の周りには町内会が管理する会議室の貸し出しもあり、そういう関係か



市民に貸し出しディベート大会 (同)

ら議場を完全に一般開放しているわけではない。利用状況や市民からの要望も踏まえた上で検討していく」と話している。

北川議長の話

本市の議場は、多目的に利用できるようフラッ



北川広人議長 (高浜市)

トな構造となっており、本市議会には、委員会室や会派室はなく、議員控室も必要最低限のものとなっており。これらは、執行部からお願いではなく、議会占有区域をコンパクトなものとするために、議会自ら提案したものであります。このように、公共施設あり方について、議会も考え、実践しています。



議場。12月定例会総務建設委員会 (同)

高浜市は、愛知県のはぼ中央、三河平野の南西部に位置する。全国の屋根瓦の約7割を占める三州瓦の製造のほか、自動車部品やフォークリフトなどの輸送機器関連産業が盛ん。

議会人事

議長

- ▽由布 佐藤人己(11.19)
- ▽海老名 福地 茂(11.20)
- ▽南あわじ

副議長

- ▽田邊正弘(12.4)
- ▽我孫子 西垣一郎(12.5)

- ▽亀山 新 秀隆(11.12)
- ▽泉南 金子健太郎(11.12)
- ▽豊岡 松井正志(11.12)
- ▽能美 嵐 昭夫(11.14)
- ▽ひたちなか

- ▽滑川 竹原正人(12.2)
- ▽小美玉 石井 旭(12.2)
- ▽紀の川 榎本喜之(12.2)
- ▽観音寺 友枝俊陽(12.2)
- ▽四国中央

- ▽我孫子 久野晋作(12.5)
- ▽匝瑳 都祭広一(12.6)
- ▽枕崎 豊留榮子(12.6)
- ▽事務局長
- ▽新城 林 治雄(4.1)
- ▽岩倉 丹羽 至(10.1)
- ▽新宿 木城正雄(12.11)

- ▽佐賀 川原田裕明(10.29)
- ▽むつ 大瀧次男(10.30)
- ▽東近江 西崎 彰(10.31)
- ▽村山 大山正弘(11.1)
- ▽草加 佐々木洋一(11.1)
- ▽志摩 濱口三代和(11.1)
- ▽湖南 加藤貞一郎(11.5)
- ▽南国 土居恒夫(11.5)
- ▽湯沢 柏原久寿(11.6)
- ▽東大阪

- ▽熊田 司(11.21)
- ▽酒田 小松原俊(11.22)
- ▽弥富 佐藤高(11.25)
- ▽雲仙 松尾文昭(11.25)
- ▽奄美 与 勝広(11.25)
- ▽相馬 菊地清次(11.27)
- ▽いなべ 水谷治喜(11.28)
- ▽益田 中島 守(11.28)
- ▽高萩 大森要二(11.29)
- ▽袖ヶ浦

- ▽加賀 今津和喜夫(10.29)
- ▽佐賀 嘉村弘和(10.29)
- ▽むつ 佐々木隆徳(10.30)
- ▽東近江 西澤由男(10.31)
- ▽村山 石澤祐一(11.1)
- ▽草加 中野 修(11.1)
- ▽志摩 大西美幸(11.1)
- ▽朝来 森下恒夫(11.1)
- ▽五泉 剣持雄吾(11.5)
- ▽湖南 堀田繁樹(11.5)
- ▽安来 澤田秀夫(11.5)
- ▽南国 今西忠良(11.5)
- ▽湯沢 渡部正明(11.6)
- ▽南魚沼 鈴木 一(11.6)
- ▽東大阪 松尾 武(11.7)
- ▽米原 今中力松(11.7)
- ▽牧之原 大井俊彦(11.8)
- ▽野洲 野並享子(11.8)
- ▽鶴岡 佐藤博幸(11.11)
- ▽小金井 板倉真也(11.11)
- ▽小賀 小河文人(11.11)
- ▽浜田 佐々木豊治(11.11)
- ▽平戸 山本芳久(11.11)
- ▽由利本荘

- ▽小島 一(11.21)
- ▽酒田 斎藤 周(11.22)
- ▽雲仙 深堀善彰(11.25)
- ▽奄美 奥 輝人(11.25)
- ▽射水 瀧田孝吉(11.26)
- ▽塩尻 西條富雄(11.26)
- ▽相馬 杉本智美(11.27)
- ▽防府 上田和夫(11.27)
- ▽玉名 多田隈啓二(11.27)
- ▽いなべ 小川幹則(11.28)
- ▽恵那 千藤安雄(11.28)
- ▽舞鶴 鯛 慶一(11.28)
- ▽高萩 我妻康伸(11.29)
- ▽西脇 高瀬 洋(11.29)
- ▽曾於 伊地知厚仁(11.29)
- ▽高岡 中川加津代(12.2)

- ▽石原哲郎(12.2)
- ▽藤原清史(12.3)
- ▽富田 薫(12.3)
- ▽植山利博(12.3)
- ▽高野早苗(12.4)
- ▽黒部
- ▽霧島
- ▽桑名
- ▽伊勢
- ▽南さつま

- ▽西邑定幸氏(長浜市議会議長) 12月7日逝去、71歳。葬儀は12月10日、市内で行われた。喪主は女婿の伸吾さん。

訃報

- ▽米原 吉田周一郎(11.7)
- ▽牧之原 中野康子(11.8)
- ▽野洲 岩井智恵子(11.8)
- ▽鶴岡 本間新兵衛(11.11)
- ▽泉南 南 良徳(11.11)
- ▽甲賀 谷永兼二(11.11)
- ▽平戸 山内清二(11.11)
- ▽由利本荘
- ▽三浦秀雄(11.12)
- ▽岡崎 築瀬 太(11.12)
- ▽新城 鈴木達雄(11.12)
- ▽ひたちなか
- ▽葛城 鈴木一成(11.14)
- ▽下村正樹(11.18)
- ▽いちき串木野
- ▽下迫田良信(11.18)

- ▽前田美智江(11.29)
- ▽西脇 村井公平(11.29)
- ▽曾於 土屋健一(11.29)
- ▽紋別 飯田弘明(12.2)
- ▽高岡 金森一郎(12.2)
- ▽小美玉 笹目雄一(12.2)
- ▽紀の川 村垣正造(12.2)
- ▽観音寺 大賀正三(12.2)
- ▽四国中央
- ▽石津千代子(12.2)
- ▽鳥栖 森山 林(12.2)
- ▽南さつま
- ▽有村義次(12.2)
- ▽伊勢 世古 明(12.3)
- ▽桑名 伊藤真人(12.3)
- ▽霧島 阿多己清(12.3)
- ▽大網白里

- ▽堀田繁樹(11.5)
- ▽澤田秀夫(11.5)
- ▽今西忠良(11.5)
- ▽渡部正明(11.6)
- ▽鈴木 一(11.6)
- ▽松尾 武(11.7)
- ▽今中力松(11.7)
- ▽大井俊彦(11.8)
- ▽野並享子(11.8)
- ▽佐藤博幸(11.11)
- ▽板倉真也(11.11)
- ▽小河文人(11.11)
- ▽佐々木豊治(11.11)
- ▽山本芳久(11.11)
- ▽板倉真也(11.11)
- ▽小川幹則(11.28)
- ▽千藤安雄(11.28)
- ▽鯛 慶一(11.28)
- ▽我妻康伸(11.29)
- ▽高瀬 洋(11.29)
- ▽伊地知厚仁(11.29)
- ▽中川加津代(12.2)

- ▽甲斐裕一(11.19)
- ▽市川洋一(11.20)
- ▽小島 一(11.21)
- ▽斎藤 周(11.22)
- ▽深堀善彰(11.25)
- ▽奥 輝人(11.25)
- ▽瀧田孝吉(11.26)
- ▽西條富雄(11.26)
- ▽杉本智美(11.27)
- ▽上田和夫(11.27)
- ▽多田隈啓二(11.27)
- ▽小川幹則(11.28)
- ▽千藤安雄(11.28)
- ▽鯛 慶一(11.28)
- ▽我妻康伸(11.29)
- ▽高瀬 洋(11.29)
- ▽伊地知厚仁(11.29)
- ▽中川加津代(12.2)

- ▽高野早苗(12.4)
- ▽植山利博(12.3)
- ▽富田 薫(12.3)
- ▽藤原清史(12.3)
- ▽石原哲郎(12.2)
- ▽山川和孝(12.2)
- ▽三瓶 武(11.14)
- ▽高橋聖悟(11.15)
- ▽片岡勝則(11.15)
- ▽増田順弘(11.18)
- ▽濱田 尚(11.18)
- ▽甲斐裕一(11.19)
- ▽市川洋一(11.20)
- ▽小島 一(11.21)
- ▽斎藤 周(11.22)
- ▽深堀善彰(11.25)
- ▽奥 輝人(11.25)
- ▽瀧田孝吉(11.26)
- ▽西條富雄(11.26)
- ▽杉本智美(11.27)
- ▽上田和夫(11.27)
- ▽多田隈啓二(11.27)
- ▽小川幹則(11.28)
- ▽千藤安雄(11.28)
- ▽鯛 慶一(11.28)
- ▽我妻康伸(11.29)
- ▽高瀬 洋(11.29)
- ▽伊地知厚仁(11.29)
- ▽中川加津代(12.2)

共同編集：全国市議会議長会・全国町村議会議長会 2020
 議員研修誌 月刊 地方議会人 1 January
 A 4判・68頁・定価816円(年間購読料9,792円)*

特集
 オリンピック・パラリンピックと地方創生

- 年頭所感
 内閣総理大臣 安倍晋三
 総務大臣 高市早苗
 まち・ひと・しごと創生担当大臣 北村誠吾
- 新春ご挨拶
 全国市議会議長会会長 野尻哲雄
 全国町村議会議長会会長 松尾文則
- 特集
 ▶オリンピック・パラリンピックの取組み状況について / 平田竹男
 ▶地域の活性化が期待される東京オリパラ「ホストタウン」/ 亀和田俊明
 ▶ホストタウンの子どもたちと選手をつなぐ / 榎田電路
- 現地報告
 岩手県大船渡市
- 特別寄稿
 応援村と地方創生について / 樋渡啓祐

*2020年4月号より消費税改定に伴い定価831円となり、年間購読料は9,972円となります。
 ご注文・問い合わせは 株式会社 中央文化社
 TEL 03-3264-2520 又は FAX 03-3264-2867
 URL http://chuobunkasha.com